

わる気と感動

学校だより 23号

平成30年

1月25日(木)

= 全校道徳授業 『広島 ~すずめ~』 =

先週の16日(火)に、山本晴美さん、松村誠さんをお招きし、全校道徳を行いました。

演題は「広島~すずめ~」で歌と語りをまじえた「歌語り」の形で話をはじめました。

「私が生まれてきたわけは 父と母に出会うため 友人に出会うため いとしいあなたに出会うため 幸せになるため」・・・とてもすんだ綺麗な歌声から始まり、全校生徒が歌語りの世界にひきずりこまれました。

晴美さんが広島で出会った一人のおじいさんから聞いた話をもとに語られていきました。

おじいさんは原爆孤児。子どもの頃、疎開で親戚の家に行っていました。8月6日学校にいる時、広島の方面でピカッとしてドーンという地響き。外をみると、きのこ雲が……。爆弾が落とされてから一週間後に家に戻れました。しかし、家は焼かれ、父以外は消息がわかりませんでした。父も目の前で焼かれ……。その父が焼かれる炎をみつめるだけで、何も言葉がみつからなかったそうです。父親の焼かれるところを見つめている、その気持ちは誰もが想像つかない悲しみでみちていたと思います。

8月15日に戦争が終わりました。戦争が終わっても、住んでいた家もなく、また家族も失った原爆孤児たちの悲しみの日々はここからはじまりました。原爆で一瞬に多くの命をうばい、命拾いした人も原爆病との闘い、体中からうじがわいたり、皮膚がただれ苦しくて苦しくて。

このすさまじい有様を強烈な写真(みんなに戦争の悲惨さを伝えたく、見るのもつらい写真も入れたそうです。)をバックに歌ったり語ったりして、私たちにその悲惨さを伝えてくださいました。

また、この時間に学んだことをクイズ形式で生徒たちに質問をしたり、もし南部中に爆弾が落ちたらどのあたりまで被害がおよぶかも教えてくれました。

今私たちはたくさんの物に恵まれ暮らしています。日本では戦争のことを想像するのは難しいことかもしれませんが。しかし、今も紛争は世界各地で起こっています。紛争により大切な人たちを一瞬で失っている人もいます。核兵器開発など、戦争へ向けて準備している国もあります。

「未来は何も決まっていない 明日をつくるのは私たちだから……。今日話を聞いて何か心に残って、そして芽がでますように。いつかは核兵器がなくなって平和が当たり前になるといいな。」この晴美さんの最後の歌と話が私の心に残っています。

この南部中の生徒たちが大人になった時、戦争のない世界に向かって世の中が動き出しているといいですね。

＜文責:教頭 橋本昌幸＞

最後に各学年の生徒の感想を載せておきます。

1年生 望月 蒼太 くん

『自分はあまり広島や長崎の事についてよく知りませんでした。けど今回の集会の内容を聞いていると、8月6日に広島にリトルボーイという原子爆弾、8月9日に長崎に原子爆弾が落ちて、写真を見ると服がボロボロになっていた子や、肌が焼けている子がいて、1つの爆弾でこんなになってしまうのだ、と思いました。それに南部中学校に原子爆弾が落ちると、自分は即死してしまうな、と思いました。この世から核兵器なんてなくなってしまえばいいと思いました。それに、どうして人を殺す兵器を作るのだろうなど、と思いました。』



2年生 清 若奈 さん

『この全校道徳は、「平和」について考える、とても良い機会になりました。今までにも平和や戦争について考えることはありましたが、いつもあまり「自分たちのこと」として見るができませんでした。まだ自分にも起こることかもしれない、ということは想像できないけれど、歌と言葉によって語られたものは、とても心に残りました。話を聞いていて、胸が苦しくなることが何度もありました。私の家族がみんななくなってしまったら……きっとたえられないと思います。多くの命をうばい、どん底につき落とした爆弾、戦争が許せません。今、私たちが何気なく送っている生活が当たり前ではないと、改めて感じました。地震などは、私たちにはどうすることもできないけど、戦争は私たちでなくすことができると思います。少しでも平和な世の中にするためには、多くの人々が戦争の悲惨さを知り、平和の大切さを伝えていくことが必要だと思います。私たち2年生は修学旅行で広島へ行きますが、そこでたくさん話を聞き、その人たちの思いを伝えていきたいと思っています。平和の大切さ、尊さを感じながら、自分たちにできることを考え、これから生きていきたいと思いました。』

3年生 望月 駿佑 くん

『僕は修学旅行で1度広島に行ったことがあります。今回の集会で歌や体験を聞いて、改めて原爆の悲惨さや苦しみなどが伝わってきました。特にスライドに写っていた写真には、信じられないような状況があり、そんな状況だった時代からまだ70年しか経っていないんだと思うと、恐ろしくなってきます。同じことを繰り返してほしくないと思うと強く思いました。また、次に広島に行ったときには、平和記念公園にいる「すずめのおじさん」にも、ぜひ会いたいと思いました。』

3年生 芦川 鈴奈 さん

『私は広島の前爆のことなどを聞くと、体調が悪くなってしまいます。そのため広島の前爆資料館を見てもまわるができませんでした。なので、今回このような機会でも話を聞くことができ、とても良かったと思います。広島の前爆のことを改めて聞いてよかったと思いました。前爆の被害にあった人の話を修学旅行で聞くことができましたが、改めて聞くと考え方が少しかわるんだなど、思いました。修学旅行の時より深く考えることができました。「広島～すずめ～」を聞いて日本の過去にはこんなことがあったと思うと、心が苦しいです。でも、日本の過去にあったことは、これからも忘れてはいけないと思うし、これから伝えていかなきゃいけないと思います。』

<1月・2月の主な行事>

1月28日(日) 南部町駅伝大会、サウスウインドコンサート 30日(火) スキー教室(1年)

*バスケットボール交流大会も開催されます。

2月 1日(木)～2日(金) 山梨公立高前期検査(8日内定) 14日(水) 授業参観、学年PTA

19日(月)～21日(水) 静岡公立高出願 20日(火)～22日(木) 山梨公立高後期出願

20日(火)～21日(水) 三年期末テスト 23日(金) 3年生を送る会 26日(月) 学校運営協議会